答え 10月10日 今日は何の日クイズ



赤い字が答えです

目の愛護デーにちなんで「目のクイズ」

【第1問】目の中で、カメラのレンズのようにピントを合わせる部分は？

① 角膜（かくまく）　② 網膜（もうまく）　③ 水晶体（すいしょうたい）

水晶体は、厚くなったりうすくなったりして、近くや遠くにピントを合わせます。年をとると、この水晶体がかたくなって、近くが見えにくくなるのです。

【第2問】目のレンズ（水晶体）がにごって、かすんで見えるようになる病気は？

① 結膜炎（けつまくえん）

② 緑内障（りょくないしょう）

③ 白内障（はくないしょう）

白内障は、年をとるとだれにでも起こりやすくなります。まぶしい、かすむ、と感じたら眼科へ。手術を受けて「世の中が明るくなった」と話す方も多いですね。

【第3問】近くばかり見て目がつかれたとき、よいといわれるのは？

① 目をこする　② 遠くをながめる　③ 暗い所で本を読む

近くを見ているあいだ、目の中の筋肉はずっと力が入っています。窓の外の景色や、部屋の遠くの時計をながめると、目の力がゆるみます。目をこするのはやめましょう。

【第4問】「目に入れても痛くない」。どんな意味でしょう？

① がまん強い　② かわいくてたまらない　③ 目がじょうぶ

孫や子どもが、かわいくてかわいくてたまらない、というたとえです。目に入れても痛くないと思えるほど、という気持ちが伝わってきますね。

【第5問】「目から〇〇が落ちる」。急にものごとがよく分かるようになること。〇〇は？

① うろこ　② なみだ　③ ほこり

目をおおっていたうろこが落ちて、急によく見えるようになる、というたとえです。もとは聖書のお話から来た言葉だといわれます。

【第6問】ことわざ「目は〇〇ほどに物を言う」。〇〇に入るのは？

① 口　② 耳　③ 手

目つきや目の動きには、口で話すのと同じくらい気持ちがあらわれる、という意味です。マスクをしていても、目を見ると笑っているのが分かりますね。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます